九条の樹

81号
2019年11月行

発行：東久留米「九条の会」
URL：http://higashikurume-9.net

連絡先：TEL 042-473-9489（鈴木）
mail：higashikurume9@jcom.home.ne.jp

東久留米「九条の会」十四周年によせて

井口 信治（滝山在住）

社保協をはじめ、私が今直接かかわっている生活と健康を守る会、革新懇、九条の会そして精神障害者のための事業所コイノニアの活動では、憲法を抜きにしては考えられない取り組みとなってきています。つまりそれだけ憲法の定めを否定するような行政（政治）があらゆる面ですすめられていることを示しています。

憲法の前文をはじめ、条文では第九条以外に第25条（生存権、国の社会的責任）、第13条（個人の尊厳）、第14条（法の下での平等）、憲法22条（移転及び職業選択の自由）が重要な武器になっています。革新懇の活動では憲法のフル稼働が必要になっています。

障害者の分野で事例を紹介しますと、コイノニア（NPO法人）に精神障害者のグループホームが二つあり、その一つは通過型グループホームと言って、入居後3年経つと出なければならないことになっているものです。通過型で生活保護を利用して暮らしている利用者の一人が、来春は3年を迎えるためアパートを探していました。民間では家賃の安いところはなかなかなく、西団地（公社住宅）に空き屋があり、入居申し込みをしたところ、入居条件に月額収入が月額家賃の3倍以上という条件がありました。そこで生活保護費と障害者年金そしてわずかな作業所の工賃を合計し、3倍をクリアーしたので喜んで申請に行くと、生活保護費は収入と認めない（公社の内規による）と入居を断られました。因みに公社住宅の家賃は月額31000円から37000円でした。民間は家賃も5～6万で、精神障害者はお断りというところが多くて、いまだに見つかっていません。障害者が差別され権利が無視されています。

こうしたことがないように、国連では2006年12月に、障害を持った人が、他の人たちと同じような生活ができるようにするための障害者権利条約が採択されました。そして遅ればせながら7年後の2014年1月に日本では国会で批准しています。

批准国は国連の障害者権利委員会から点検をうけることになっており、批准した国は2年以内に司法、立法、行政の三か所からの進捗状況報告が義務付けられています。今のところ行政報告はされています。

また、国連では同時にパラレルレポートと言って民間からの報告を受けることになっています。両者の報告書を見るという見事な仕組みです。

東久留米「九条の会」14周年のつどい
金子勝氏（立教大学特任教授）講演
「日本経済衰退の現実」

金子勝氏

（文責　事務局）

東久留米「九条の会」14周年のつどいが、10月26日（土）成美教育文化会館ホール満員の参加者で開催されました。
オープニングはフルートとバスフルートの演奏、優しい音色に癒されました。その後、金子勝教授の講演会となり、質問も含めて2時間を超える熱のこもったお話でした。要旨を二回に分けて掲載します。

今の経済を直視する

今の経済のひどい状況は実は賃金が継続的に落っこちてるのです。格差や貧困がなぜひどいかと言えば、この20年間実質所得が落ちてるんです。異常なんです。世界的に先進国では、ばらつきはあるが上がっています。日本は円安と賃下げで既存の製品を輸出してるのが精一杯です。日本は技術が優れていて貿易黒字はたまってるんじゃないかと思っている人もあるかと思いますが、それは幻想です。そんなことを言っていたら浦島太郎です。（笑）競争力はどんどん落ちていて、今は自動車がダメになれば日本はアウトです。そういう現実を皆見ようとしてません。消費税５％にしろとか、国債でやりましょうとか、ＭＭＴとか言って票を取ってる人がいますが、分かってないです。そんなゆとり全くないです。安倍政権の下ですべて失敗しています。元をいえば原発。「原発がないと経済持たない」とか言ってたでしょう。ところが、もはや原発のコストは異様に高くて、必死にしがみついていると日本経済は、ますます悪くなる。そのことがはっきりしたのが関電の原発マネー還流問題です。メロンやカニで、ついに菅原一秀経済産業相が辞めました。今日のニュースでそのメロンリストに安倍晋三首相や後任の梶山経済産業相が入っているのです。「選挙区じゃないから違反じゃない」と言ってますが、金品を回して、法律はすっ飛ばして最後は検察と公安警察で押さえを利かして犯罪にならない、というようなことが今の日本社会の現実です。

関電問題のコアは、安倍政権のど真ん中。公安警察と検察の公安部と一体化して原子力村と呼ばれる経済産業省、電力会社の腐った連中がコアになっています。裏で動いているのは内閣筆頭政務秘書官今井尚哉。おじさんは今井敬経団連元会長で日本原子力協会の会長。原発再稼働の中心人物。経済が良くならないので、汚職や利権やら、縁故資本主義みたいな世界を維持していて、維持すればするほど滅びていっている構図です。

メディアも押さえられてますから報道しない。多くの人が投票に行かなかったりしています。

私はこういう状況を清算しながら環境や安全を大事にしながら新しいエネルギーや農業、福祉、医療などそれぞれの地域でネットワーク型の社会を作っていく、そういう社会に変えていく、そういうことを言いたいだけなんです。

安倍政権は経済を壊す

私が大学に入るころは水俣病など４大公害裁判の判決が出るころでした。有害物質排出を規制して環境を良くしていく、そういう判決が出て、環境庁も出来ました。日本の

自動車産業は排ガスを出さない燃費の良い車を作って世界的な産業になっていったわけです。チッソやイタイイタイ病を解決していく過程の中で、日本の化学産業は高純度の製品、有害物質を出さない真摯な努力をしてきました。それが韓国への輸出問題でこれらの努力を全部ぶち壊したのは安倍なのです。軍事転用なんてありえない。フッ化水素で中国製の安いやつで十分なのに半導体用の純度の高いバカ高いものをわざわざ軍事転用するわけがないです。明らかに韓国の半導体産業に対する嫌みのためにやってるんです。

「強制労働問題」ですが中国との場合、1972年国交回復のときに一応賠償問題解決したはずなんですがその後、鹿島建設、水谷建設、三菱マテリアルの訴訟が起きて、政府が介入しない形で企業と直接交渉で示談で収まってるのです。韓国について安倍は「国際法違反だ」とか言ってますが、強制労働された人たちと企業との民事訴訟なので国が関与する必要はないです。NHKは韓国に輸出されたフッ化水素などが北朝鮮で軍事転用しているという小野寺防衛大臣（当時）の発言をそのまま引用して放映しています。それを参議院選挙の前に流して、その後一切訂正していません。異常な事態です。

消費税の引き上げ

外国人労働者を増やしています。中小企業も苦しいから外国人を雇う。だから賃金が下がる。今まで真ん中にいた人がぐっと下がってしまう。格差が広がる。継続的に賃金は上げられるかと言えばある程度はできる。大企業は内部留保があるから。企業は株価を上げて他に乗っ取られないように自己防衛している。株価重視の経営です。経営者は新しいイノベーションを作ったり開発しようという気はない。日産なども技術者など、まじめに電気自動車などやっている人もいるのにトップはそういう気がない。つぶれそうになっている。原発で投資をだめにして日立、三菱重工もだめになりつつある。それでもみんな平気な顔をしている。「三代目には身代つぶす」という格言通りです。

日本という会社がつぶれそうなのです。非常に危険です。日本は出口のないねずみ講に入ってるようなものです。日銀は「お金をいくら発行してもいい」という考えでひたすら株を買い、国債を買ってる。やめた瞬間につぶれちゃうんです、ひたすら買い続けなくちゃならないんです。つぶれるまで。

考えてください。14兆円借金する予定の東京電力がいまだに生きている。東芝が危なくなれば日銀が東芝の社債を大量に買って救っている。金利をゼロにすれば企業は死なないわけです。今も倒産も少ないしいいだろう、というわけです。メディアもマヒしていますから、危機感がありません。

こういう中、国民も年金など社会福祉が維持できないと感じていますから、消費税引き上げは仕方がないと世論調査で答えている人の方が多かったのです。

裁判と原発

2006年に第一次安倍政権が出来たときに、佐藤福島県知事が原発にきびしい条件を付けていた。プルサーマル計画にも反対していた。佐藤知事の弟に原発関連の水谷建設がスーツを送った。それを東京地検が連座制で知事も逮捕して、収賄で有罪になっています。

同じ年に共産党の吉井英勝議員が地震や津波などによる原発の電源喪失について、（福島原発事故は2011年）質問しました。安倍は「ありえない」と答弁しています。この問題を取り上げたテレビ東京が自民党甘利明から裁判をおこされて、テレビ側が敗訴しています。

（次号へつづく）

東久留米「九条の会」14周年のつどいアンケート

フルート演奏の感想

・久しぶりにやさしいフルートの音色に酔いました。
・深まりゆく秋にふさわしい素敵な演奏で、聴き入りました。出来れば司会者からでも演奏曲目を紹介してほしいと思いました。

金子勝さんのお話しの感想

・金子さんの、地方分散型社会の実現は容易じゃないだろうけど・・・現状を打破するにはそれしかないか。
・今の世の中の怖いお話を詳しくしてくださり、今の日本は心配ばかりだと感じました。
・日常の各メディアから得られない情報を聞くことができ、目からウロコ。この講演を機に「現実を注視し、本質を見きわめ、なにをすべきか」の姿勢を持っていきたい。
・新しい社会「そうだ」と思いますが・・・健康に気を付けてほしいです。ねらわれないでください。アベのど真ん中、初めて知りました、というより糸の絡みよりひどいですね。
・いつもラジオでお話を聞いています。先生の脱原発をぜひ国民の多くの方が、我が事のように考えてほしいと思います。住み慣れた故郷を出なければならない辛さ、悲しさをみなさんが共有して、いい方向にもっていってほしいです。
・とても参考になりました。知らないこともたくさんありました。大マスコミの報道することを鵜呑みにせずに真実を識る努力をしていきたいと思います。現政権は早く倒さなくてはいけないと切に思いました。

あいちトリエンナーレ2019
表現の自由と不自由

『平和の少女像』

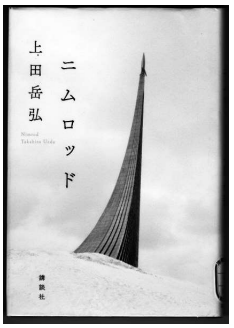
開催から三日目で中止となった「表現の不自由展・その後」は、想像を超えたネットによる抗議、京都アニメを思い起こさせる脅迫や河村たかし市長の発言、政府の補助金不交付という圧力を受けました。その陰に過去の歴史を無かったことにしたい人、憲法を変えたい人たちの影が見えます。

メディアで取り上げられたり、多くの人たちの声と努力で再開が決定し、私も早速行ってきました。公共の役割は、表現の自由を保証すること、金は出しても口は出さないのが憲法にある本来の姿の筈です。

「即位礼正殿の儀」での安倍首相の万歳三唱は異様な光景でした。ちょっとずつものが言えなくなり、気が付いたら世の中が茶色一色になっているなんて、考えただけでも嫌になります。

（大山）

《平和を考える本》
『ニムロッド』
（上田岳弘／講談社）



第160回芥川賞受賞作。

IT系の会社で働く中本哲史は、社長からビットコインの採掘業務を命じられる。価格が下がり利益が減ってくれれば、新しい仮想通貨を作ればいいと考える社長。中本のもとには、時々同僚のニムロッドこと荷室からメールが届くが、内容は数々の「駄目な飛行機コレクション」。――もし駄目な飛行機が造られることなく、駄目じゃない飛行機ができてしまえば彼らは必要なかったのか、と。

ハイスピードでハイテクの世界につき進む未来には、駄目じゃない人間だけがいればいいのか？

（高田桂子）